

2018年度 事業報告

NPO法人 おおさかこども多文化センター

I 事業期間

2018年4月1日 ～ 2019年3月31日

II 事業の成果

NPO法人を設立して8年が過ぎ、NPO法人おおさかこども多文化センター(以下オコタック)としての知名度も上がり着実に実績作りがなされてきた。基本事業のひとつである「大阪府日本語教育学校支援事業」は8年度目を終了し、事業対象の府立高校のみならず、相談業務を通して小中学校、国際交流協会、自治体との信頼関係の構築を進めている。

オコタック独自の企画としては、本年度で4年目となった府内高校生による通訳案内ボランティア活動は11校が参加した。なお、この取り組みに対して大阪NPOセンター主催「CSOアワード2018」でグランプリを受賞した。また、大阪市NPO・市民活動企画助成金を受託し、外国にルーツを持つ子どもの教育支援に関わる学習会、シンポジウム、外国人家族のため進路相談会の実施を通じ、支援者のスキルアップや、当事者への情報提供にも注力した。

子どもゆめ基金からの助成では、「多文化にふれる えほんのひろば2018」を開催。絵本を通じて世界の文化に出会う場をつくと同時に、外国ルーツの子どもたちに、母語を活かして活躍する機会を提供することができた。

さらに、万博記念基金助成事業より助成金をいただき、「外国につながる子どもを元気にするための実態調査」を実施、報告会を開催し予想を超える参加者に関心の高まりという手ごたえが得られた。

また、企業や行政との連携も広がった。(株)阪急・阪神百貨店グループの一般財団H2Oサンタプロジェクトから寄付をいただき、ニュースレターの発行などに充当するなど、経済的基盤の整備を進めたり、阪急・阪神ホールディングス(株)のゆめまちプロジェクトとして、ワークショップなどを開催したりした。また、大阪市港区役所から多文化共生教育スタートアップ事業を受託して、多言語の絵本等を使った多文化理解プログラム活動を行った。

外国につながる子どもへの直接の支援では、ボランティアによる学習支援活動「サタデークラス」、大阪市塾代助成事業を活用して高校進学を応援する「Tabunka Juku」の活動を年間を通して行い、小・中・高校生への支援は高校合格などの実績を上げた。さらに「Tabunka Juku『アニモ』」は大阪西淀ライオンズクラブ55周年記念事業「元気づくり応援事業」でグランプリを受賞。

2018年度は、例年掲げている「出会い、ふれあい、まなびあい、育ちあう場」の提供と、「つながる」関係者の拡充はもとより、新たな取り組みを通じ、これからの事業への可能性を示唆する1年となった。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に関わる事業

(1)(事業名) 大阪府日本語教育学校支援事業【ピアにほんご】(大阪府教育委員会委託事業)

(内容) 大阪府立高校に学ぶ日本語指導の必要な生徒のための教育支援事業。

教育サポーター派遣、保護者懇談通訳派遣、日本語教育教材、資料の紹介や情報提供、相談員による相談業務、生活オリエンテーション、教育サポーターの交流会。

(実施期間) 2018年4月 ～ 2019年3月

(事業の対象者) 各府立高校

(収入) 7,578,000 円

(支出) 7,580,752 円

(2)(事業名) サタデークラス

(内容) 毎週土曜日の午後(年48回)、外国につながる多文化な子どもたちに居場所と学習支援の場を提供した。

クリスマス会、進級・進学お祝い会などのイベントを行った。毎月実施するボランティア体験説明会には、毎回1～5名の参加があった。また、甲南女子大社会貢献課、ECC国際外語専門学校社会貢献室の協

力により、学生ボランティアの参加が得られた。高校受験生は全員合格した。
ホームページや、Facebook など SNS の活用により情報発信を充実させた。

(収入) 163,940 円

(支出) 67,922 円

(3)(事業名) Tabunka Juku(たぶんかじゅく)

(内容) 毎週英語・数学・日本語指導を行い高校への進路を開く取り組みを行った。大阪市塾代助成事業の登録校として大阪市より交付金が得られ諸費用にあてた。元高校教師等を中心に系統的、かつ継続的指導の下、高校入試にチャレンジし、全員合格が得られた。

ホームページや、Facebook など SNS の活用により情報発信を充実させた。

(収入) 1,609,976 円

(支出) 1,670,948 円

(4)(事業名) 府内高校生による訪日観光客への案内通訳ボランティア事業

(大阪市ボランティア活動振興基金助成金事業)

(内容) 当事業を開始して4年目であるが、今年度も大阪市ボランティア活動振興基金助成金事業を利用し、生徒の交通費支給等に活用した。参加校は新たに2校が増え 11 校となった。2018 年度より民営化され大阪メトロと組織名は変更になったが、この事業へのあたたかい支援、協力姿勢は変わらず、事業を無事終えることができた。活動駅:なんば、日本橋(試行として大国町、大阪港) 活動日数:64 日、初心者研修会:3日、スキルアップ研修:2日、参加生徒延べ数:365 名

(実施期間) 2018 年4月 ~ 2019 年3月

(事業の対象者) 府内の外国につながる高校生

(収入) 500,000 円

(支出) 547,236 円

(5)(事業名) 外国にルーツをもつ子どもの包摂的支援に関わるセミナー

(大阪市NPO・市民活動企画助成金事業)

(内容) 多文化な子どもの教育に関する研修会、外国人家族のための高校進学相談会、外国にルーツをもつ子ども×発達障がいのシンポジウム (大阪大学未来戦略機構第5部門未来共催)

(実施日程) 7月 22 日「外国にルーツをもつ子どもの“日本語力の見取り”から」講師:古川 敦子さん

11 月 10 日 外国人家族のための高校進学説明・相談会

12 月 9 日「外国にルーツをもつ×特別な配慮が必要な子ども」シンポジウム

講師:山本 憲子さん、パネリスト:田中 ルジアさん、浦 久仁子さん、水野 励さん

(事業の対象者)外国にルーツをもつ子どもの人権や、貧困と教育に関わる活動に興味を持つ教育関係者、およびボランティア、外国人家族とその子どもたちなど

(収入) 266,500 円

(支出) 284,389 円

(6)(事業名)「多文化にふれる えほんのひろば 2018

～出会ってわくわく! いろいろなおはなし、せかいのいろいろなおともたち～

(子どもゆめ基金助成事業)

(内容) 大阪市立中央図書館の協力のもと、6回目の開催。外国語作品を含むたくさんの絵本を自由に楽しんでもらう中で、外国から来た親子には母語絵本に、日本人親子には絵本を通じて身近に存在する多文化に触れてもらった。また多言語によるおはなし会等を行うことにより、外国ルーツの児童生徒や保護者に、母語を生かした活躍の場も提供。

(実施日程) 11 月 17 日、18 日

(参加者) 両日でのべ 約 1,100 人

(事業の対象者) 主に在阪の外国にルーツを持つ親子や児童生徒、絵本・多文化交流に興味のある人

(収入) 410,000 円

(支出) 483,988 円

(7)ヒューライツ大阪との共催事業 (両団体の活動で重なる課題についてのセミナーを開催)

(内容) 移住者・移住労働者、外国につながる子ども人権に関わるセミナー

「フィンランドの移民受け入れ ～これから日本が歩む道をさぐる～」

(実施日程) 1月19日

(収入) 0 円

(支出) 0 円

(8)(事業名) 講師・通訳派遣事業および翻訳事業

(内容) 研修講座の講師、通訳、非常勤講師など、当 NPO が推薦する人材を、自治体、国際交流協会、小・中・高校等に紹介した。また、翻訳事業を行った。

(事業の対象者) 大阪府教育委員会、大阪府内市町村教育委員会、各地国際交流協会、大阪府立高校、府内小・中学校、(株)Kサポート 等

(収入) 561,200 円

(支出) 458,420 円

(9)(事業名)日本万国博覧会記念基金助成事業の助成金による調査及び報告

(内容) 大阪大学「外国にルーツを持つ子どもたちの生活と就労研究会」との協働で、府立高校で日本語指導を必要とする生徒選抜・帰国生徒選抜実施校の高校生へのアンケート約 100 名とインタビュー10 名による調査を行った。調査結果をもとに2019年3月24日に「外国につながる子どもを元気にするための実態調査」報告会を、関西大学外国語教育学会の会場協力、「子どもの夢応援ネットワーク」の協力で実施した。80 名を超す参加者があり、課題意識の共有が得られた。当日の様子が毎日新聞に掲載された。

(収入) 800,000 円(事業終了後、入金予定)

(支出) 364,597 円(事業継続中のため 2019 年3月末現在)

(10)(事業名) 文献・資料の収集と公開、及びリソースセンターとしての環境整備

(内容) 外国にルーツをもつ子どもたちの教育支援・多文化社会の実現に役に立つ資料・教材や、多言語の絵本を含む文献を収集して、公開中。外国にルーツをもつ子どもの教育相談を実施。

(2016 年度より大阪府人権協会の相談登録メンバー)

(収入) 0 円

(支出) 0 円

(11)(事業名) 情報発信

(内容) ニュースレター「OKoTaC(オコタック)通信」を編集・発行し(年4回)、外国にルーツをもつ子どもたちに関するタイムリーな情報を伝えた。(2018 年度は第 40 号～43 号を発行)

ホームページや、Facebook など SNS の活用により情報発信を充実させた。

(収入) 0 円

(支出) 10,368 円

(12)(事業名)「子どもの夢応援ネットワーク」事業

(内容) ともにいきるシンポジウム Part 2

第1部 講演 世田谷区長 保坂展人さん「地方分権と多文化共生を考える」

第2部 保坂さんを変えたパネルトーク

第3部 参加者によるテーブルトーク

(日時) 2月23日 13:30~17:30

(場所) 大阪市立敷津小学校

(収入) 0 円

(支出) 0 円

(13)(事業名) 行政・企業・関連団体との連携と、NPO「おおさか子ども多文化センター」としての実績作り

(内容) 阪急・阪神ホールディングス(株)のゆめまちプロジェクトとして、ワークショップなどを開催。H2O サンタブプロジェクトを通じて、オコタツクの広報、寄付金収集に協力してもらっている。大阪市港区役所から、多文化共生教育スタートアップ事業を受託(港区内の2つの小学校のいきいき教室における多文化理解プログラムの実施。多文化共生教育に活用できるデジタルコンテンツのリスト化)

(収入) 167,692 円

(支出) 157,268 円

(14)(事業名) インターンシップ・ボランティア受け入れ事業

(内容) 大阪大学 未来共生イノベーター博士課程プログラムで1名のインターンを受け入れ。

関西大学外国語学部の学生3名に「多文化にふれる えほんのひろば」での設営、運営ボランティアとして活動してもらった。

(収入) 0 円

(支出) 0 円

(15)(事業名) 会員に向けたセミナー・情報交換会

(内容) 「新聞記者から見た多文化共生」

講師: 中尾 卓司さん(毎日新聞エリア報道センター次長)

(実施日程) 5月26日 10:40~12:00

(参加者) 16名

(事業の対象者) NPO おおさか子ども多文化センター正会員および賛助会員、その他希望者

(収入) 0 円

(支出) 0 円

IV 会員総会の開催状況

第8回通常総会

(日 時) 5月26日 10:00~10:40

(場 所) ヒューライツ大阪 セミナー室

(社員総数) 84名

(出席者数) 48名(うち委任状出席者数 36名)

(内 容) 2017年度事業報告、決算報告、監査報告、

定款変更の件、役員を選任、2018年度事業計画、予算等

以上のすべての案件が原案通り可決された。

V 理事会その他の役員会の開催

理事会 5月21日、理事打ち合わせおよび情報交換会 20回程度